

赤十字えひめ

Japanese Red Cross Society EHIME



令和3年度版



特集 わたしたちにできることを、それぞれの場所で。
～日本赤十字社における新型コロナウイルス感染症への対応～

特集 わたしたちにできることを、それぞれの場所で。

～日本赤十字における新型コロナウイルス感染症への対応～



クルーズ船への救護班等の派遣

日本赤十字社では、厚生労働省からの要請を受け、2020年3月1日まで、横浜港に停泊中のクルーズ船(ダイヤモンド・プリンセス号)に救護班や国の災害派遣医療チーム(日本DMAT)を派遣しました。

〈救護活動〉

赤十字救護班は、乗客全員の医療、健康管理を行うメディカルセンターの支援活動を担い、JMAT(日本医師会災害医療チーム)、DPAT(災害精神医療チーム)、自衛隊などと連携して業務に従事しました。

救護班の委員には、海外派遣要員として活動経験のある職員を積極的に派遣し、大部分を占める外国籍の乗客全員に対しても、その語学能力を活かして円滑な支援活動を展開しました。

〈こころのケア〉

日赤では、災害時の救護活動において、被災者に対する「こころのケア」を行いました。

クルーズ船の活動においてもこころのケアの指導員資格を有する看護師を派遣し、乗客乗員に対するケアを実施するとともに、国際赤十字・赤新月社連盟などの協力を得て、日本語、英語及び中国語で作成したパンフレットを配布しました。

〈救護活動〉

派遣期間	2月10日～2月26日
派遣医療施設	14施設
派遣要員	67名
医師13名、看護師27名、事務職員16名、 薬剤師10名、助産師1名	

〈日本DMAT〉

派遣期間	2月6日～3月1日
派遣医療施設	16施設
派遣要員	75名
医師26名、看護師17名、業務調整員32名	

赤十字病院の取り組み

感染症指定医療機関の施設を中心に、全国91の赤十字病院の3分の2以上の病院で、随時、感染者及び感染疑い者の受け入れを行いました。

感染者受け入れの病床確保のため、一般病床や一部の外来診療の稼働休止、入院、予定手術を延期するなどしたうえで、院内感染防止の措置を行い、必要な病床の確保に努めています。

最前線に立つ医療従事者たちは、急速な感染拡大による医療資材の不足など、自身の感染の不安も抱えながら、目の前の患者を救うため懸命な治療にあたりました。

直面する課題と対応

医療スタッフの感染予防のため、通常の倍以上の人手がかかるため、感染症病棟以外の医療スタッフを新型コロナウイルス感染症対応に投入しています。

特に呼吸管理が必要な重傷者がさらに増加した場合、医療スタッフの不足が懸念されることから対策を進めています。

また、防護服を着用しながらの診療による医療スタッフの身体的負担が大きく、さらに、感染リスクに対する心理的な負担も大きくなっています。



©Atsushi Shibuya/JRCS

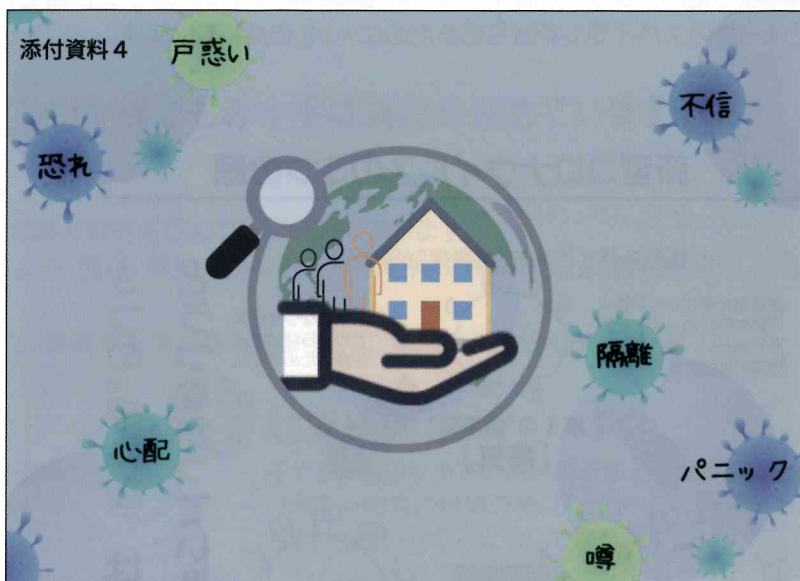
(通常1人対応のところ2人の看護師で対応)

差別・偏見を防ぐための情報発信 “3つの感染症”への取り組み

一般向けサポートガイドの公開

世界中で感染が拡大する中、「こころの健康」を保つことを目的として、「病気そのもの」、「不安と恐れ」、「嫌悪・偏見・差別」という3つの感染症による負のスパイラルを断ち切るための対応をまとめたサポートガイドを作成・公開しました。

また自宅待機等により行動が制限されている方とその周りの方にいらっしゃる方とその家族向けのサポートガイド(3種類)も公開しました。行動が制限されている方には自身のこころを保つためのヒントを紹介し、その方の周りにいらっしゃる方には支援の方法や注意点を助言しています。高齢者や基礎疾患のある方には噂や伝聞をうのみにせず、本当に正しいかを確かめてみる大切さも伝えています。



感染症流行期に
こころの健康を保つために

～ 隔離や自宅待機により行動が制限されている方々へ～

Content and design
developed by:
香港紅十字會
HONG KONG RED CROSS
Member of the Board of the Red Cross Society of China

Translated by:
日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

絵本アニメーションなど啓発用動画の発信

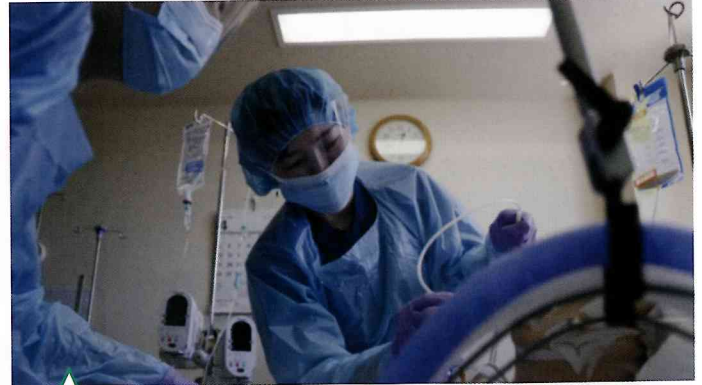
3つの感染症について、より幅広い年齢層にわかりやすく伝えるため、一般向けサポートガイドの作成に加え、絵本アニメーション「ウイルスの次にやってくるもの」などの動画を制作・発信しました。

また、多くの方々に感染の拡大を自分事として捉えてもらい、感染拡大・医療崩壊を防ぐため、医療現場の現状や医療従事者の苦悩や葛藤などを伝える動画「医療の最前線からのメッセージ」も併せて制作・発信しました。

これらの動画は、公開と同時にSNS (Twitter及びFacebook) を通じて多くの方々に共有されるとともに、各メディアにも多数紹介されました。



「ウイルスの次にやってくるもの」
詳しくはこちら→



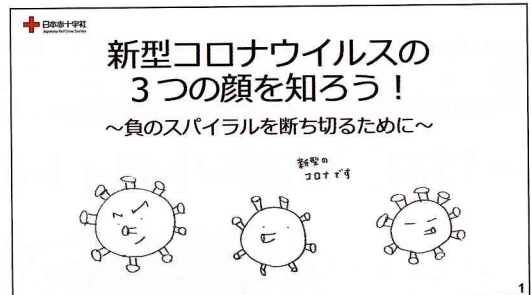
「医療の最前線からのメッセージ」
詳しくはこちら→



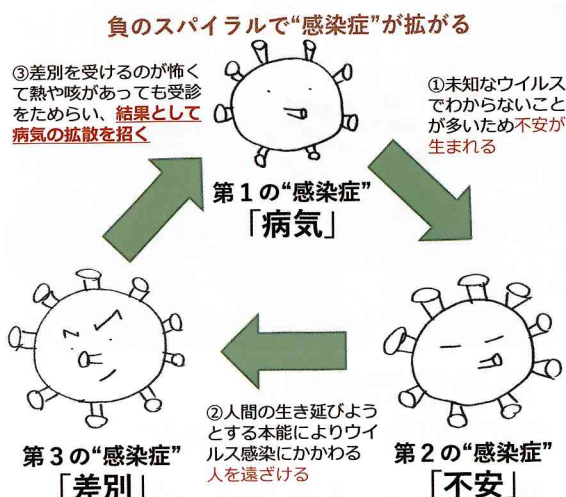
正しい知識と情報で心の感染を防ごう!!

新型コロナウイルスの感染を心配するあまり、感染者や医療従事者、その家族に対する偏見や差別、誹謗中傷がなくなりません。「マスク警察」や「自粛警察」も問題になりました。差別を生まないためには何が必要なのか、考えてみませんか。

日本赤十字社では、新型コロナウイルスがもたらす負のスパイラルを知り、断ち切るためのガイドとして「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう! ~負のスパイラルを断ち切るために~」を作成しています。



新型コロナウイルスの3つの顔



3つの“感染症”は
どうつながっているの？

“負のスパイラル”に立ち向かうには？

★徹底した衛生行動

「手洗い」「咳エチケット」「人混みを避ける」

★不安に振り回されない

「気づく力」「聴く力」「自分を支える力」を高める

★思いやりをもつ

不確かな情報を拡散せず、全ての人をねぎらい、敬意を払う

★一人ひとりの努力が大切

より詳しい「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう! ~負のスパイラルを断ち切るために~」のガイドは日本赤十字社のホームページをご覧ください。

愛媛県支部の取り組み

コロナ発生病院への職員の派遣

愛媛県では令和2年5月に松山市内の精神科病院でクラスターが発生。コロナ対応により病院関係者の身体的・精神的な負担が増え、感染症対策の医療物資も不足している状態でした。そこでDMAT、DPATなどが支援に入り、早期の感染制御と支援体制の構築にあたりました。日赤愛媛県支部からもリエゾン(連絡調整員)として職員を派遣し、不足する医療物資支援の調整活動を行いました。

青少年赤十字事業を通じた発信

全国の学校や支部の取り組み

日本赤十字社では青少年赤十字の指導者向けに、サポートガイド「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう!」のオリジナル教材を配布しております。

愛媛県支部ではJRC指導者研修会でオリジナル教材を活用した講義を行い、感染を防ぐ方法だけでなく、感染症がもたらす差別や偏見の問題について伝えさせていただきました。

人権参観日の講話などでも対応させていただきますので、講話のご希望がございましたら日赤愛媛県支部(089-921-8603)までお問合せください。



(JRC指導者研修会で教材を使用して講演する愛媛県支部職員)

愛媛県青少年赤十字メンバーによる活動

「3つの感染症」を学んだ青少年赤十字メンバーが、自ら「気づき・考え・実行する」活動が各地で展開されています。

愛媛県青少年赤十字高校生連絡協議会では赤十字のオリジナル教材を使い、手洗いの大切さや3つの感染症について学び、新型コロナウイルスに対して、今、何ができるかを一緒に考えました。

またコロナで生まれた差別、偏見をなくそうと愛媛で生まれた「シトラスリボン運動」。そのシトラスリボンを新田高校JRC部員ほか有志が作製し、愛媛県支部に届けてくれました。



(シトラスリボンを作製する青少年赤十字メンバー)

愛媛県支部 講習事業

コロナ禍でも赤十字は講習を進めています。

災害や事故はいつ起こるかわかりません。

コロナ禍でも、大切ないのちと健康を守るための知識と技術を広めていく必要があります。

愛媛県支部では、安心して講習に参加いただけるよう、開催・参加条件を設定すると共に、感染防止対策を徹底し、一部の講習を開催しています。

「助げたい」という思いを行動に移せるように、また、健康で安全に暮らせるように、学んでみませんか？



救急法

日常生活での、事故防止、急病の手当、出血や骨折などのケガの手当のほか、災害時の心得などについての知識と技術が学べます。



水上安全法

水と親しみ、水の事故から生命を守るため、泳ぎの基本、事故防止とプールや海などでの監視技術、溺れた人の救助の方法について学べます。



幼児安全法

子どもに起こりやすい事故の予防とその手当。かかりやすい病気の対処の他、子どもへの心肺蘇生や、AEDの使い方などについて学べます。



健康生活支援講習

高齢者の自立した生活を目指し、高齢の家庭や地域で誰もが支援や介護ができる方法、自身がすこやかな高齢期を迎えるための知識や技術について学べます。

◆ 赤十字講習の開催は、感染拡大状況によって変更します。最新の情報は、愛媛県支部ホームページをご確認ください。

—令和2年7月豪雨災害への取り組み—

令和2年7月初旬、西日本から東日本にかけて広い範囲で猛烈な雨が襲いました。記録的な浸水深となった熊本県・球磨川の氾濫被害地域には、目を疑う光景が…。

新型コロナウイルス感染症への不安を抱える中での自然災害発生が、現実のものとなりました。

日本赤十字社では、全救護員がサージカルマスクを着用、一人1つずつ消毒薬を携行してその都度手指を消毒し、使用する資器材や移動車もこまめに消毒するなど、感染予防策に細心の注意を払って実施いたしました。



©Atsushi Shibuya/JRCS

日本赤十字社の活動

(救護班) 活動期間:7月4日～8月3日 派遣班数:34班

(DMAT) 活動期間:7月3日～7月22日 派遣班数:20班

※救護班・DMAT併せた派遣人数:297名

※松山赤十字病院からDMATのロジスティックスタッフとして、医師2名薬剤師1名を派遣

(救援物資) 毛布:2,268枚 緊急セット:1,238セット

安眠セット:997セット タオル類等:5,651枚



©Atsushi Shibuya/JRCS

義援金募集中!!

日本赤十字社では今回の災害で被災された方々を支援するため、広く義援金を募集しています。

頂いた義援金は手数料等を一切いただくことなく、被災地の義援金配分委員会を通じてすべて被災者の皆様に配分されます。皆さまの温かいご支援をよろしくお願いいたします。

※詳しくは日本赤十字社のホームページをご覧ください。 [日本赤十字社 義援金 検索](#)

—赤十字終活セミナー開催—

近年、「終活」という言葉をよく耳にするようになりました。

「最期まで自分の人生を自分で舵取りしたい。」
「家族に迷惑をかけたくない。」終活に感じる思いは人それぞれですが、「具体的に何をしたら良いか分からない…」という点は皆さま共通しています。

そこで、日本赤十字社愛媛県支部では、地域の皆さまに、これからの人生を生き生きと悔いなく過ごしていただきたいという思いから、赤十字終活セミナーを開催いたしました。

セミナーでは、一般社団法人終活サポート協会から講師をお招きし、エンディングノートの書き方などを専門的な知見からお話していただきました。



終活セミナー開催希望団体募集中!!

日本赤十字社愛媛県支部では、講師を各地域に派遣し、赤十字終活セミナーを開催しています。地域住民、町内会、事業所、高齢者施設等みんなで終活について学んでみませんか。希望される方は、お気軽に下記担当窓口までご連絡ください。

※日程調整が必要なことから開催2ヵ月前までにはお申し込みをお願いいたします。

※20名以上のご参加をお願いいたします。

※実施内容、所要時間については事前協議の上、調整いたします。

担当窓口:日本赤十字社愛媛県支部 連絡先:TEL 089-921-8603/FAX 089-932-9160

—活動資金のご協力をお願いいたします—

日本赤十字社が行う災害救護、講習などの各種活動は皆さまから
いただいたご寄付で成り立っています。

命を救うための赤十字の活動にご協力をお願いします。

—皆さまからお寄せいただく活動資金はこのようなところでも活用されています—

¥10,000で

災害時に防寒対策や
布団の代わりとして使える

災害時用毛布(10枚)



¥20,000で

災害時、避難所などで
就寝する際に役立つ

安眠セット(10人分)



¥30,000で

避難所生活を余儀なくされた時に
必要なアイテムが収納された

緊急セット(10世帯分)



他にも救護班、こころのケアの活動費用等にも充てられます。

表彰制度について

日本赤十字社の表彰(年額2,000円以上の寄付者が対象)

特別社員
2万円

銀色有功章
20万円

金色有功章
50万円

社長感謝状
金色受賞後
50万円ごと

国の表彰

厚生労働大臣感謝状
個人 100万円
法人・団体 300万円

紺綬褒章
個人 500万円
法人・団体 1,000万円



【紺綬褒章(褒状、箱入り褒章)】

税金の優遇制度について

日本赤十字社に対して一定額以上のご寄付をいただいた場合は、個人・法人ともに、税金控除の対象となります。
詳しくは、日本赤十字社のホームページをご覧ください。

安定的なご支援をいただくことで、災害に対するより充実した事前の備えが実現できます。

赤十字では地域でのご協力や銀行振込のほかに、口座振替やクレジットカードでの定期的なご協力も受け付けています。

口座振替でのご協力

2,000円以上の金額で毎月または毎年、ご指定の口座からお振替します。

※口座振替をご希望の方は総務課(089-921-8603)までご連絡ください。
申込書をお送りいたします。

クレジットカードでのご協力

2,000円以上の金額で毎月・毎年・その都度ご協力いただけます。

赤十字 クレジット 寄付 検索

Thank you for your support.

日本赤十字社愛媛県支部 令和元年度歳入歳出決算報告

皆さまのご協力により、「いのちを守り、救う活動」が広がっています。令和元年度に皆さまからお寄せいただいた活動資金は、下記のとおり活用させていただきました。

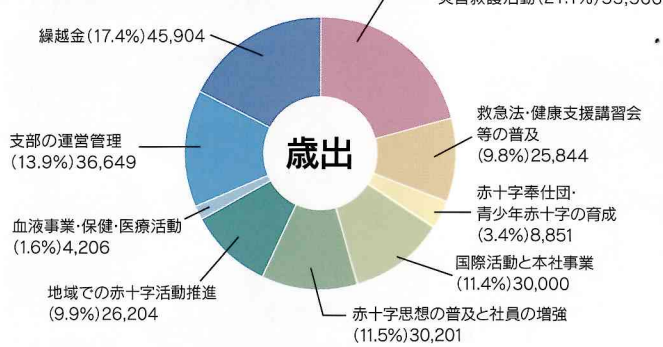
※義援金は除く。

令和元年度 決算の概要 (単位:千円)

●歳入合計 263,425

活動資金収入 …… 196,518 本社交付金 …… 7,178
繰入金 …… 911 事業収入・その他 …… 58,818

●歳出合計 263,425



日本赤十字社愛媛県支部 令和3年度歳入歳出予算

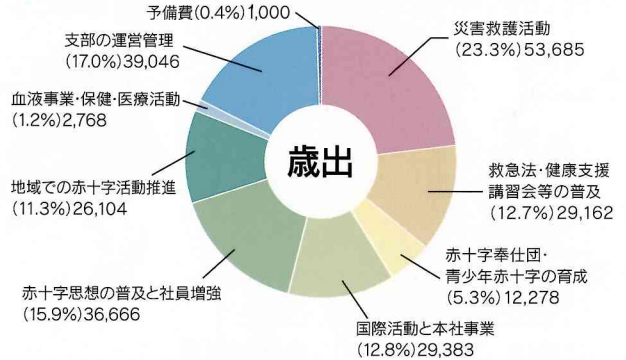
愛媛県支部では、南海トラフ地震などの大規模災害に備えて、救護資機材の整備、救護訓練や防災講座の実施など地域の防災力の向上に努めてまいります。

令和3年度 予算の概要 (単位:千円)

●歳入合計 230,092

活動資金収入 …… 192,220 本社交付金 …… 2,407
繰入金 …… 630 事業収入・その他 …… 34,835

●歳出合計 230,092



遺贈・相続財産・香典返し

遺贈パンフレットを無料でさしあげています。

近年、「自分が亡くなった後、これまで築いた財産の一部を赤十字に寄付したい」といったご相談や、大切な方を亡くされたご遺族から、「故人の遺産を社会のために役立ててほしい」という尊いお申し出が増えています。赤十字では、このような尊いご意思に応えるために遺言によるご寄付(遺贈)、相続財産のご寄付、お香典のご寄付を承っております。

ご相談につきましては当支部(089-921-8603)までお気軽にお問合せください。



愛媛県支部 施設見学

町内会の研修などにもご活用ください。

赤十字の活動について理解を深めて頂こうと、支部1階の広報プラザや、災害物資倉庫の見学、また3階の研修室で赤十字の紹介や、災害に備え防災・減災の講話を行なっています。

※見学が可能なのは平日の8:30から17:00(土日祝日は不可)

※支部見学に関する費用はかかりません。

モデルコース 所要時間 1~2時間程度

- ◇1階 広報プラザ ◇1階 救護資機材保管庫 ◇2階 災害物資倉庫
- ◇3階 講習室で職員による赤十字活動についての講話



 **日本赤十字社** 愛媛県支部
Japanese Red Cross Society

〒790-0854

愛媛県松山市岩崎町二丁目3番40号

TEL089-921-8603/089-945-6792

FAX089-932-9160

